

秋 平成24年度(2012)秋季地区予選

M(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	横浜立野	荇田	横浜平沼	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		6-5	3-2	9-2	9	9	1
横浜立野	5-6		2-10	6-2	3	-3	3
荇田	2-3	10-2		2-4	3	5	2
横浜平沼	2-9	2-6	4-2		3	-9	4

平成24年度(2012)秋季県大会

【2回戦】

9月8日 秦野球場

希望ヶ丘 1 1 0 0 1 0 0 2 2 | 7

厚木東 0 1 0 0 0 0 0 2 2 | 5

(希) 加藤-岩田

(厚) 中村-高橋

▽二塁打 清水2 (希) 高橋、中村、岡本2 (厚)

【3回戦】

9月14日 秦野球場

希望ヶ丘 0 0 0 0 0 0 | 0

逗子 3 2 2 0 2 1x | 10

(六回コールド)

(希) 加藤、清水、今野、清水-岩田

(逗) 渡邊-泉

▽二塁打 横田 (希) 三浦秀2 (逗)

春 平成25年度(2013)春季地区予選

F(横浜高長浜)	横浜	横浜緑ヶ丘	横浜翠嵐	希望ヶ丘	勝点	得失	順位
横浜		10-0	7-0	10-0	9	27	1
横浜緑ヶ丘	0-10		3-2	8-1	6	-2	2
横浜翠嵐	0-7	2-3		13-8	3	-3	3
希望ヶ丘	0-10	1-8	8-13		0	-22	4

夏 第95回全国高校野球選手権神奈川大会

【1回戦】13日保土ヶ谷球場

試合時間1時間32分

希望ヶ丘 1 0 0 0 0 | 1

川崎北 0 0 0 1 10x | 11

(五回コールド)

(希) 加藤、磯部-小酒井

(川) 深澤-山谷

▽三塁打 鈴木(川)

▽犠打 希1(岩田) 川3(清水、山谷、深澤)

▽盗塁 希1(飯野) 川5(鈴木、山崎2、石川、笹山)

▽失策 希2(横田、磯部) 川0

▽暴投 加藤2(希)

▽捕逸 山谷(川)

激動の高校野球生活

K66 石田 希望

高校野球3年間の思い出、と言っても今すぐに思い出せることは、3年夏の大会1回戦でコールド負けを喫したことくらいである。良くも悪くも試合の結果や内容をすぐに忘れてしまう人間なので、少し時間をかけて思い出すことにした。

2個上の代の頃は、野球に対する力も心もまだまだ未熟であったし、先輩方のバッティング、ピッチングにただ度肝を抜かれていた。1個上の代になると、チームの一員としてより厳しく練習に励むことになったり、後輩たちに指導をする立場になった。どちらの代も共に、夏の大会初戦に勝利を手にした時の感動は素晴らしいものであった。

そして、自分たちの代になったが、当初の私は主将ではなかった。それでも最高学年として引っ張っていく立場となり練習に励んでいた。

秋の大会では予選でサヨナラ勝ちを2試合決め、結果本戦3回戦まで達することができた。チームとしての一体感も生まれてきたように見えたが、その後の練習試合や大会では苦しい結果が続いた。

そして、年内最後の練習試合が終わった日、当時監督であった増田先生から私が新主将に任命された。私は自分が主将になることは全く考えていなかったの、驚きと同時に責任感が重くのしかかってくるのを感じた。しかし、自分にはチームを引っ張っていく力があるということを改めて認識し、どんな結果であろうと最後まで全力で取り組むことを誓った。

春の大会地区予選は全敗であったが、横浜高校との対戦を経験して、甲子園へ向けて勝ち上がるにはこれほどの力がないといけないのかと実感できた。

夏の大会に向けて厳しい練習や試合によるストレスもあった。怪我をしたり、調子が上がらない時もあり、苦しい思いをすることもあった。しかし、そうした苦しい状況でも、仲間たちとの絆や、目標に向かって一丸となって努力する姿勢を見せることができた。

そして夏の大会、初戦が最後の試合となったが結果は大差であった。自身がグラウンドでプレーすることなく終わってしまったことの悔しさ、夏で1勝もできなかったことの主将としての申し訳なさ、この2つは10年以上経った今でも胸に突き刺さっている。

しかし野球部での経験は、人生において大きな影響を与えた。その努力やチームワークの経験は、社会に出てからも、仕事や人間関係において役立つことが多くある。それは今後の人生においても支えになると信じている。

さて、野球部創部から120年が経ち、希望ヶ丘にはたくさんの方々による歴史や思い出が刻まれているのだと、改めて感じている。現役の、また次代の野球部員たちが努力し続け、仲間との絆を深めることを願っている。そして私たちが残したよいものを継承しつつ新たな変化を生み出し、とてつもない歴史を作り上げていくことを願っている。